# 丸柱・雲板欄間付中・大棚板取り付け説明書

（部品明細）

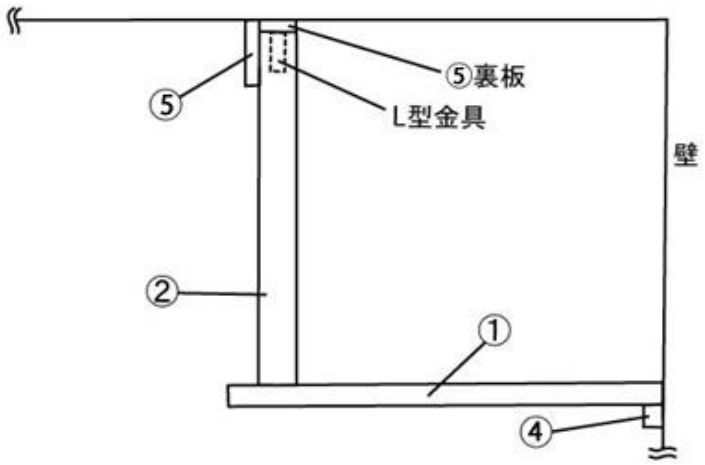
①大神棚板　1枚
②丸柱　2本
③柱押さえ桟　1本
④受桟　1本
⑤雲板欄間　1枚
⑥L型金具　2枚
⑦皿頭ビス　16mm　8本
⑧皿頭ビス　25mm　8本
⑨皿頭ビス　50mm　12本
⑩皿頭ビス　65mm　4本
⑪ボード用ビス　8本
⑫雲板用釘隠し錺金具 4分　4個
⑬受、挟み桟用釘隠し錺金具 4分　7個

（取付方法）

神様をおまつりする部屋の西または北の壁面（神殿が東、又は南向きになる）に取り付けます。

1.　②丸柱の内側にL型金具を⑦16mmの皿頭ビスを用いて取り付けます。
　①棚板の前面左右に開いている案内穴の上部2箇所へ丸柱を⑧25mmの皿頭ビスで止めます。
　取り付けた柱を③柱押さえ桟で挿み⑨50mmの皿頭ビス3本で止めます。
　次に⑤雲板欄間を丸柱、丸柱のカキへ乗せ⑧25mmの皿頭ビスで前側を取り付けます。
　その次に、先に丸柱に取り付けたL型金具を上部の板に⑦16mmの皿頭ビスで止めます。

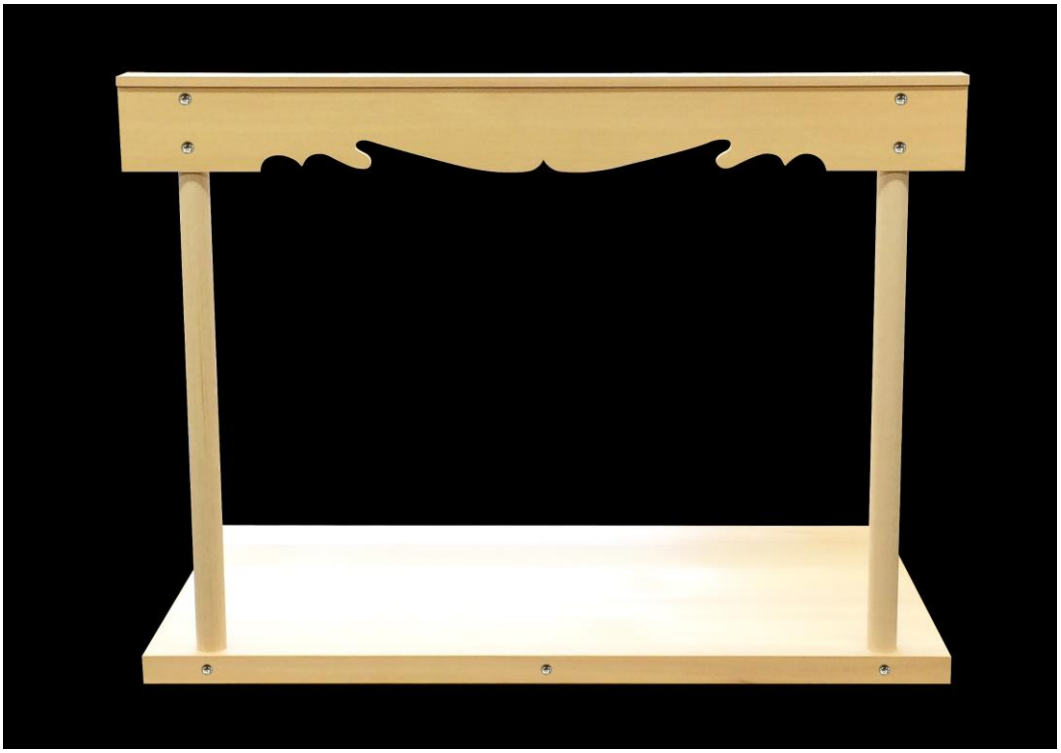
2.　棚板を取り付けるための④受桟を⑩65mmの皿板ビスで壁裏の銅縁に向けてしっかり取り付けます。柱の長さ、棚板の厚みを確認して受桟を取り付ける高さを決めてください。
　壁が石膏ボードなどでしっかり取り付かないときはボード用ビスを用いて取り付けてください。
　**※　注意　（必ず何本かは銅縁に取り付けてください。ボード用ビスだけでは落下の恐れがあります。）**



3.　1で組み立てた棚板を2で取り付けた受桟に⑨50mmの皿頭ビス5本で止めます。
次に雲板欄間上部板から天井板に向けて⑨50mmの皿頭ビス4本で止めます。
このときも天井裏の桟または、軽天の骨材に向けてしっかりと取り付けてください。
これらがなくしっかり取り付かないときはボード用ビスを用いて取り付けてください。

**※　注意　（必ず何本かは天井裏の桟か軽天の骨材に取り付けてください。ボード用ビスだけでは落下の恐れがあります。）**

4.　ビスの頭を隠すため、釘隠し錺金具を取り付けます。足を木目に沿わせて押し込みます。

**※　注意　以上で完成ですが、もう一度棚板がしっかり取り付いているか確認してから神殿、神祭具を乗せてください。**

**※　壁裏、天井裏の桟にうまく取り付けられない。また、ご自身での取り付けに不安がありましたら、大工、専門業者へお願いしてください。**